

楽しかったオミ・ビスタ

「エッ!オミ・ビスタってなあに?」から始まったオミ・ビスタ。

美しい映像や軽快な音楽。最初は映像を見るだけ、音楽を聴くだけの活動から、映像の中に身を委ねる人、長い棒やボールを使ってゲームに参加する人。それぞれの楽な姿勢や画面の大きさに楽しむことができました。

入所、学齢デイ、ラボのメンバーさん、スタッフ共々楽しませていただきました。ありがとうございます。

ライフゆう支援課長 福本栄



*この度、(福)みなと舎・メンバー後援会からの寄付金の一部を使わせていただき、人の動きに反応する映像装置「オミ・ビスタ」を半年間レンタルいたしました。メンバーさんの活動がより充実し、貴重な体験をする事が出来ました。後援会の皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

後援会事務局からのお知らせ

いつもみなと舎にお力添え下さいまして、ありがとうございます。

この度、後援会会員の皆様には、2021年度の会費(2021年4月1日~2022年3月31日)用の郵便振替用紙を同封させていただきました。

すでに会費を納めていただいた方には入っておりません。お手元に届く途中に納めていただいた場合は、用紙が入っておりますがどうぞご了承下さいませ。今年度も引き続き会員の継続をいただきますようお願い申し上げます。

いつもありがとうございます!



ゆうのメンバーさんも新しいエンタメに夢中!

後援会のご案内

一般会員 一口 2,000円 / 年
法人会員 一口 5,000円 / 年

振込先: 社会福祉法人みなと舎後援会

郵便振替口座: 00270-8-16494

銀行振替口座: かながわ信用金庫武山支店 普0256371

みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ: 山本・森下 TEL: 046-855-3911 FAX: 046-855-3912

社会福祉法人「みなと舎」広報誌



SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直

〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17

tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

先人 瀧川郁子さん、ありがとうございました。

「前人栽樹、後人乗涼」

(先人が樹木を植え、後の人が涼をとる)

先人そのものと言える人生を送られた瀧川郁子さんは、8月19日に亡くなられました。

いつも我が子を思う親たち(先人)の先頭に立って、「こどものへや」を開設し、より多くのメンバーさんが通える「場」を創るために、手芸品作りやバザー等々を続け、更に「子供たちが大学に入る入学金のつもり」と言っては多額の寄付を出し合い、そして5年後に施設「ゆう」を創設しました。

今ある「社会福祉法人みなと舎」の生みの親、育ての親として初代理事長職を12年間勤め、その後も「みなと舎後援会会長」としてずっと「栽樹」を続けてこられました。

今は多くの方々が「涼」を「よるこび」のうちに感じております。

瀧川郁子さん、ありがとう。

感謝のうちに……

社会福祉法人みなと舎理事長 飯野雄彦



ライフゆう新施設長挨拶



どうぞよろしくお願いいたします!!



*ライフゆうの施設長林なみ先生が、2021年6月30日をもって退任し、水口浩一先生が新施設長に就任致しました。尚、林なみ先生は名誉院長として引き続きライフゆうで職務にあたります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ライフゆうも8年目になりましたが、私がライフゆうに初めて出会った時の衝撃と引き付けられた魅力を忘れずに、その魅力をさらに磨いて、その活動を全国に発信していけるようなライフゆうになりたいと思っています。

そして、①地域とみなと舎流の共生に向け、境界線を作

らずメンバーさんとともに新たなことに踏み出す。②「ただ、命を救う」のではなく、多様性を共有し、「それぞれの人生の役割を追求する」。そんなチャレンジをしていきたいです。コロナ禍でネガティブなことも多いですが、新たな出会いや発見も実は多いです。10年後のみなと舎を具体的にイメージして、前向きに、ちょっと落ち込んでも前向きに、進んでいきたいと思っています。

ライフゆう施設長 水口浩一



●先人 瀧川郁子さん、ありがとうございました。

●ライフゆう新施設長 挨拶

●ゆうNEWS ゆうオリンピック週間

●ケアホームNEWS 僕たちの夏休み

●ライフゆうNEWS 打ち上げ花火

●ライフゆうラボNEWS ライフゆうラボ

●楽しかったオミ・ビスタ

●後援会事務局からのお知らせ

105号

2021年10月

ゆうオリンピック週間

ゆう支援主任 古谷妙子

TOKYOオリンピック目前の7月19日(月)、ゆうオリンピックが開幕しました。

「ひかり」VS「そら」の白熱した戦いは、5種目。

メンバーさんは、走ったり、投げたり、ボールを蹴ったりと大いに身体を動かしました。

最終日まで得点は、明かされません。毎日熱気があふれていました。

突然現れる「オリンピックおばさん」の応援は、皆を元気にしてくれました。

勝負の結果は、「そら」の優勝でしたが、

種目別のメダリストも表彰され、沢山の笑顔があふれていました。

厨房スタッフからもメンバーさんに、サプライズプレゼントの「金メダル」。

ひとつ一つ、手書きのメッセージ入りでした。しかも食べられる！

コロナ禍ですが、沢山の工夫をして益々元気に楽しみます！

メダルは
食べられるよ！



準備も
がんばったよ！



僕たちの夏休み

ケアホームはなえみ主任 田辺なおみ
ケアホームはなあかり主任 鴨田奈奈枝

今年は、3日しかない夏休み。例年のようなイベントは困難なため、今回は各々のケアホームでの企画開催となりました。はなえみではランチ親睦会を8月13日(金)に行いました。パンの器に盛りつけたトロトロのビーフシチュー、南国風サラダ、たこ焼き風エビ焼、甘いデザート3種類。全てスタッフの手作り。ちょっと、量が多いかなと思いましたが、食べやすく調理されており、皆さん美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。食後はスタッフによるリコーダー演奏会。聞きなれた曲に耳を傾け、楽しい時間を過ごしました。

一方、はなあかりでは8月14日(土)にティータイムとバイオリンのミニコンサートを楽しみました。ソーシャルディスタンスということで、玄関先で20分ほどの演奏でしたが、いつもは午後、眠くなってしまわれるメンバーさん達もしっかりと目を開けて、生のバイオリンの音色に耳を傾けていらっしゃいました。曲目はクライスラーからスコットランド民謡、タイタニックのテーマ、そしてパッパまで。電子バイオリンの演奏もあり心豊かな時間を過ごすことができました。ティータイムでは美味しいケーキに舌鼓。夜はメンバーさんのお部屋の窓から手持ち花火を見ていただきました。ささやかでしたが、楽しい一日になったのではないのでしょうか。



ライフゆうラボ

2年目を迎えたラボは、4月から養護学校を卒業したての4人の女性メンバーさん(熊谷 好美(くまがい このみ)さん・佐野 可那子(さの かなこ)さん・澁谷 美希(しぶや みき)さん・吉田 佳乃花(よしだ かのか)さん)が仲間入りしました。さらにゆうのメンバーさんでもある小巻拓也さん・中村まみさんも月に1回2回と利用されています。

昨年度に引き続き、秋田の多機能型重症児者デイサービス「にのこ」とのリモート交流も楽しんでいます。また母の日にバスボム、父の日にコーヒー染めのハンカチを手作りし、ご家族にも好評でした。さらに今年はベランダで米作りにも挑戦中！湘南国際村の強い風にも負けず、元気に実りますように…

ライフゆうラボ支援主任 里吉めぐみ



よろしくね！

新しい生活に
ドキドキ！

みんなと
いろいろなことに
挑戦したいな

収穫が待ち遠しい！

父の日の
コーヒー染めハンカチ

サマーパーティーで
スイカ割り

打ち上げ花火



「あの駐車場から花火が上がったらいいのに～」みんなの中になんとなくあった、ライフゆうの夢のひとつ。

コロナ禍でなかなか会えないご家族や仲間と同じ体験をしたい。一緒に暮らしていても階が違うだけで、なかなか会えないライフゆうのみんなと同じ景色が見たい。いつもお世話になっている地域の方達へのプレゼントにもなるといいな！ライフゆうから打ち上げ花火、夢のような企画はこんな想いから始まりました。

「はなれていても ころろはひとつ」「これで いいのだ～！」みんなの掛け声とともに、少し明るい空に上がったライフゆうの花火は、ととてもとても綺麗でした。

ライフゆう支援主任 岩澤留美子

みんなで空を見上げて…長年思い描いた夢がひとつ叶いました！



ホームページに
動画掲載中！